

事業所名

きららにじぐみ(児童発達支援/放課後等デイサービス)

## 支援プログラム

作成日

令和8年

3月

1日

法人理念		「地域で暮らす喜びをいつまでも」 ご利用者様のかけがえのない人生に寄り添い、地域で喜びをもって暮らすお手伝いをします。また、地域の宝である子どもたちの「生きる力」を育み、こころと身体の育ちを支援いたします。							
支援方針		1. 子どもの人権を守ります。2. 一人ひとりの子どもにとっての最善を第一に考えます。3. 質の高い福祉支援を提供します。 ○利用者の心身の特性を踏まえて、日常生活に必要な基本的動作と集団生活への適応訓練、児童の発達に応じた療育訓練を行います。 ○事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。							
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	有り	(時間や台数に限りがあるため相談)	
		支 援							
本人支援	健康・生活	☆わかりやすい環境、集中しやすい環境設定を行います。☆同じ曜日、同じ時間で通所し、一週間のリズムを調整します。 ☆視覚支援等を行いわかりやすいプログラムの提示を行います→写真やイラスト、文字などを用い、自分の力で理解し、行動できる力を身につけることができるように支援します。 ☆生活スキルにつながる動作の支援を行います。							
	運動・感覚	☆全身運動や指先の運動、感覚統合を取り入れた五感を刺激する遊びを通して心身、言葉の発達を促す支援を行います。 →・トランポリン、ブランコ、サーキットなど、身体を動かす粗大運動の導入・粘土遊びや新聞遊び、水遊びなどを通じた心地よい体験の積み重ね・はさみやのり、ペンなどを使った工作活動を通じた微細運動の導入。 ☆補助具等を活用し、姿勢の保持や動作の支援を行います。							
	認知・行動	☆数や文字、色、日にち、時間などの理解に繋がる支援を行います。☆ルールの理解や状況のみで、自分の行動を考えることができるための支援を行います。 ☆場所への安心感を得やすいよう、好きな遊びから始めるなどスケジュールや環境の調整を行います。 ☆ことばだけではなく、実物や写真などを提示し、自分で選択できる工夫を行います。							
	言語 コミュニケーション	☆吃音や構音障害などことばの表出に対する課題やことばの遅れに対する個別的支援を行います。 ☆3人程度の小集団の中で友だちと一緒に協力したり、作戦を考えたりするなどコミュニケーションの楽しさを感じられる支援を行います。 ☆読み書きの能力向上のための支援を行います。 ☆コミュニケーション機器(VOCA)を活用した支援を行います。 ☆身振りやサインなどで相手に伝える支援を行います。							
	人間関係 社会性	☆友だちとの関りの中で、言葉の使い方等具体的な方法を知るための支援を行います。→相手が喜ぶ行動や、ことばがけと一緒に考える場を設定します。 ☆遊びを通して身近な人と信頼関係を築いたり、対人関係の芽生えを支援します。 ☆周りの状況を見て、気持ちの切り替えや調整ができるための支援を行います。 ☆集団参加に必要なルール等を理解して、活動に参加できるための支援を行います。 ☆ルールのある遊びの中で、友だちと一緒に協力するおもしろさを体験できるよう支援をします。							
家族支援	個別療育では、保護者が支援に同席する機会を設け、ご本人の様子を共有したり、具体的な支援方法について伝える機会を設けています。				移行支援		併設されたこども園職員の見学や支援方法の伝達を行っています。 必要に応じて利用前に園への見学へ行ったり、通っている園の職員と情報共有しています。 就学前は関係者会議等にて支援目標や内容を就学先に伝えるなど、ライフステージが変わってもご本人が困らないよう連携を図ります。		
地域支援・地域連携	ご本人が通っている、こども園や学校・児童クラブや他事業所等、連携を図って支援をします				職員の質の向上		事業所内研修や外部研修等に参加し、質の向上を図ります。		
主な行事等	避難訓練(火災・地震・水害・Jアラート等) 作品展示等								